

# 常任委員会 レポート

総務厚生委員会  
委員長 山田 能新  
副委員長 小山田 輔雄  
委員 大久保 堅太  
山崎 一

産業建設文教委員会  
委員長 井元 宏三  
副委員長 綾香 良一  
委員 池田 稔  
山尾 実

近藤 芳人 田島 輝美 山内 政夫  
吉住 威三美



委員長報告全文は  
こちらをご覧ください。



## 1-2月定例会 ここに注目!

令和2年12月定例会 (12月7日~18日)

### 令和2年度平戸市一般会計補正予算(第9号)

## システム改修の委託契約は十分に内容の検討を!

### 委員会での主な論議

- Q 障害者自立支援給付費等支援システムの改修に伴う委託業務の内容は。
- A 今回の改修は、障害者福祉サービスに係る介護給付費の報酬改定に伴う改修である。
- Q 大幅な制度の改正ではなく、報酬改定などのように、単価の変更を行う場合のシステム改修は、比較的単純な作業であると思われるが、委託業務の見積額が高すぎるのではないかと見積時に価格交渉は行ったのか。
- A 見積額の交渉は行ってはいるが、全国的にも同様のシステムを使用していることから、他自治体においても報酬改定時の改修は、固定的な作業に係る経費ということで同額程度の見積額となっている。本市独自の交渉により見積額を下げることができるかということに関しては難しい現状である。

### 委員会からの意見

**意見** システム等の改修作業に関しては、導入時の契約条件次第で、委託経費を削減できるのではないか。市全体のシステム発注時に、そういった対応をするべきである。

システム改修事業	委託費
障害福祉事務経費	132万円
後期高齢者医療事務経費	88万円
介護保険事務経費	220万円

### 平戸市立学校設置条例及び平戸市立学校施設の開放に関する条例の一部改正について

## 学校の統廃合は慎重な協議と対応を!

### 野子中学校の統廃合に関する教育委員会からの趣旨説明

野子中学校が実施した中学校進学状況調査の結果から、ほとんどが南部中学校への進学を望んでおり、今後も、一定の生徒数が確保できないことから学校としての役割を果たすことが著しく困難であると判断し、保護者等の意向も踏まえ統廃合の判断をした。

Q 進路希望については、子どもや保護者からの意向調査を早くするべきではなかったのか。

A 野子小学校6年生への中学校進学状況調査は、野子中学校及び指定学校先の生徒数、学級数や次年度の教職員の人事異動に関わるため2学期に行っているが、保護者や子どもの意向調査を早めるのはひとつの案であり、保護者の方にも伝えるべきであったと思う。



【野子小中学校】

### 成人・高齢者予防接種事業

Q 今年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市内の医療機関でもインフルエンザワクチンが不足していると聞く。高齢者の予防接種の過去の実績はどのようになっているのか。ワクチンの量が足りなくなった場合には、どのように対応しようと考えているのか。

A 過去の実績としては、平成30年度7,128人、令和元年度が7,278人と、この1~2年は、高齢者全体の60%前後で推移している。今年は11月時点で既に全体の65%にあたる7,980人が接種しており、12月以降の接種予定者を約1,200人と想定し、延べ9,165人分を見込んでいます。接種場所である。国のワクチン供給量も前年比12%増となっていることから不足することはないと考えています。

### 農業用ハウス・畜舎等復旧対策支援事業

Q アスパラガスハウスの被害について、台風の前にはビニールをはぐなど被災しないような対策は行っていないのか。

A 農協の指導員を通じて生産者にはビニールをはぐことも検討するよう呼びかけを行ったが、風向きや作物への被害を考えビニールをどうするかは最終的には生産者が判断するものであった。

### 被災し修復を繰り返すようであれば費用もかかり、やる気も低下するのではないか

Q 被災し修復を繰り返すようであれば費用もかかり、やる気も低下するのではないか。市全体のシステム発注時に、そういった対応をするべきである。

A アスパラガスのハウスは周年ビニールで覆っており鉄骨で整備するほうが望ましいが、作物の収益で投資効果を算定した場合に鉄骨の入っていない構造となる。補助事業などにより整備する場合には、より丈夫な規格とならないか県へも要望していきたい。

### 養殖魚赤潮被害緊急対策事業

Q 11月に赤潮が発生した原因をどのように分析しているのか。

A 前回(平成24年)の被害から保険への加入や毎週1回、赤潮が出る時期は、週2回のモニタリング調査を県北水産業普及指導センターで行っていたが、10月にまとまった降雨があり薄香湾に養分が流れ込んだこと、11月には小潮で天気良好、赤潮が一番増殖する要件が重なり南風も影響し局所的に赤潮が発生したものであると分析している。通常の赤潮であれば、養殖業者も薬を撒いて対処するが、赤潮の層が3~5mありどうにもならなかったと報告を受けており、今後は土日も含めて県、市、漁協、養殖業者で連絡体制を密に整えるようにしている。

### 鄭成功記念館指定管理料

Q 指定管理料限度額の算定の主なものは何か。

A 施設の管理運営経費は人件費、事務費、施設維持管理費であり、指定管理料は鄭成功記念館のパート職員の人件費が主なものである。

### 度島交流会館指定管理料

Q 他の指定管理している施設より高く設定しているのではないかと。精算は行うのか。

A 建設後の初年度は光熱水費は余裕をもって算定しており、指定管理料に関する指針においても初めて指定管理を行う施設は、精算するようになっていく。また、非公募の施設は毎年、精算することになっており、度島交流会館も精算するようになっていく。

### 指定管理者の指定について(平戸市鄭成功記念館)

Q 記念館の集客維持の支援を行政はどのように考えているのか。

A 運営委員会が月1回程度、定例会を行っており担当者も参加しているが、川内地区は鄭成功生誕の地であるという地域性があることから、まちづくり協議会とも連携して中野地区全体に波及するためどうしたらよいか地域の皆さんと協議している。